

平成 30 年度 第 5 回 南区区民会議 会 議 録		第 5 回 区民会議 平成 31 年 1 月 15 日		
		承認	作成	
		野上 H31/1/31	伊藤 H31/1/28	
日 時	平成 31 年 1 月 15 日 (火) 17 時 00 分 ～ 19 時 25 分			
場 所	南区役所 1 階 多目的室			
出席者 (敬称略)	区民会議委員： 網野 希美 栗原 清美 土橋 康夫 松本 勲 有浦 正子 近藤 功 野上 一昭 本橋 修 大高 昭雄 坂井 陽介 野口 松一 金川 ツギ 細渕 久美子 新藤 賢一 ※出席者 14 名 南区役所職員： 区民生活部長 コミュニティ課長 コミュニティ課参与 コミュニティ課課長補佐兼企画係長 コミュニティ課企画係主任 支 援 者： 日本コンサルタントグループ 牛久保 伊藤			
	傍聴者・報道： なし			
欠席者 (敬称略)	区民会議委員： 新川 貞夫 長澤 勇二 永堀 文子 中村 真人 (欠席者 4 名)			
会議項目	1 開会 2 議事 (1) 第 5 回南区区民会議の進め方について (2) 第 4 回区民会議グループ協議②の整理 (3) グループ協議③・交流の場ごとの主体別取組みを検討する (4) グループ協議③の協議結果発表 (5) 平成 30 年度協議結果取りまとめ、今後のスケジュール等について 3 諸連絡 4 閉会			
資 料	・平成 30 年度 第 5 回南区区民会議 次第 ・第 5 回南区区民会議の進め方 (案) SMC18-C251-01 ・第 4 回区民会議 グループ協議②の整理 (案) SMC18-C251-02 ・グループ協議② 協議ボード (3 グループ別) 以上 4 点			

#### 今回の決定事項

- ・本年度第 5 回までの協議結果を取りまとめ、“協議のまとめ”の素案を作成し、事務局と調整して原案にする。委員の皆様への原案原稿の校正作業のお願いを経て、報告書を整備し、第 6 回で区長に報告する予定とする。
- ・平成 30 年度 第 6 回南区区民会議の開催日時については、平成 31 年 2 月 28 日 (木) 16:00～とする。

## 議 事 内 容

## 【平成 30 年度 第 5 回南区区民会議】

## 1 開会（コミュニティ課長より）

- \*本日の出席者（委員）は 14 名、また、区民会議は公開を前提としているが、本日は傍聴人がいないことを報告した。
- \*会議録作成のため、会議中の録音及び記録写真撮影をさせていただくことへの了承をお願いした。
- \*南区区民会議設置要綱第 8 条に基づき、承認いただいているオブザーバーとして細井区民生活部長の参加、また、会議運営支援者の参加を報告した。
- \*配布資料（事前に郵送している資料 4 点、本日配布のチラシ）の確認をした。
- \*本日、野上会長の出席が遅れるため、区民会議設置要綱第 4 条第 4 項に基づき、議事進行は坂井副会長をお願いした。

## 2 議事（設置要綱第 5 条に基づき、野上会長が議長となり進行）

## (1) 第 5 回南区区民会議の進め方について、(2) 第 4 回南区区民会議グループ協議②の整理

議長：議題（1）第 5 回南区区民会議の進め方、議題（2）第 4 回南区区民会議グループ協議②の整理は、関連がありますので併せて進めます。支援者より説明をお願いします。

支援者：まず、資料「第 5 回南区区民会議の進め方（案）」の p1 で説明いたします。前回第 4 回では、グループ協議②として、交流の場づくりの課題解決の方策アイデアを協議しました。今回第 5 回では、交流の場ごとに「誰がやるのか」という主体別の取組みをメインに協議したいと思います。

資料「第 4 回区民会議 グループ協議②の整理（案）」には、グループごとに第 4 回での発表内容を掲載し、協議内容の整理と第 5 回会議での協議課題案をそれぞれまとめてみました。本日のグループ協議③では、これらを参考に協議を進めてください。

## (3) グループ協議③

議長：議題（3）グループ協議③・交流の場ごとの主体別取組みを検討する について、支援者より説明をお願いします。

支援者：資料「第 5 回南区区民会議の進め方（案）」の p3 をお開きください。グループ協議③の進め方を説明します。p3 にグループ協議③のステップと協議内容、時間配分の目安、そして、交流の場ごとの課題対応の方策アイデア追加と主体別取組みに至る協議ボード③（模造紙）イメージを記しています。

- ・ステップⅠ：前回会議の振り返りを資料で確認します。
- ・ステップⅡ：交流の場ごとの課題に対応した方策アイデアの追加について整理します。（各自の意見を付箋に書き出し、協議ボードに貼ります。）
- ・ステップⅢ：交流の場ごとの主体的取組みについて検討して整理します。
- ・ステップⅣ：付箋の意見をグルーピングしながら、発表に向けてまとめをします。
- ・ステップⅤ：グループごとに協議結果を発表します。

議長：何か質問等ございますか。それでは、グループ協議③に入ります。協議進行の時間配分を意識していただきながら、各グループでの協議をお願いします。

## ＜グループ討議の開始＞

※各グループでは、まとめ・進行係、発表係などを確認した上で、協議ボードの事項に従ってグループワークを開始した。

※各自で意見を付箋に書き出し、のちに順番に読み上げて意見を説明し、その付箋を協議ボー

ドに貼り、各意見をグループ内で共有しながら協議を進めた。  
 ※各グループには、事務局・支援者が付いて、進め方や意見集約などの助言等を行った。

#### (4) グループ協議③ 協議結果の発表

支援者：グループ協議、おつかれさまでした。Aグループから順に発表をお願いします。

#### ●Aグループからの発表

～メンバー：野上会長、金川委員、松本委員、新藤委員、大高委員

##### ※交流の場タイプ

“課題解決型の交流の場”

##### ※交流の場づくりの課題に対応した方策アイデアの追加と主体別の取組み

###### 交流の場1/SSNが主導する防災訓練

課題①：既存の防災訓練にSSNをどう絡ませるか

課題②：団体が集めるコーディネーターが必要

- 小学生（高学年）、中学生や高校生を防災訓練にどのように組み込んでいくか、については、まずは行政が先導し音頭をとり、教育の一環として防災訓練への参画を位置づけないと進まない。
- 防災訓練時だけでなく、算数、国語、理科と同じように防災科目を授業の一環として学ぶべきである。
- 子ども達にどんなことをやってもらうかを話し合うことが必要であり、防災アドバイザーの助言や防災への精通者の協力を得て、SSNの核となる自治会長と学校長がコーディネーターをつとめ、各団体が参加、交流をしながら子ども達の役割分担を協議する。また、子ども達が話し合い、自主的に担う役割を決めていくことも必要である。
- 教育観点を重視する学校側に、社協を主体にして子ども達の防災への参画を働きかけることが必要であり、高齢者の実態をよく知る民生委員との連携で、災害時における子ども達が果たす高齢者支援を考えるべきである。例えば、子ども達が歩ける高齢者を避難所まで連れてくる。

###### 交流の場2/文化センターや公民館を活用した健康づくりの場

課題①：テーマによって対象施設（場所）を選択

課題②：誰が集客するか（PR・集客方法）

- 行政や社協が主導して既に多くの健康づくり事業を行っており、広報にお知らせが掲載されている。しかし、自治会を通して情報が流れることが少なく、自治会と連携した広報、事業周知を図る必要がある。いきいき百歳体操の参加募集も回覧板が回るが、民生委員側からの一本釣りは多いが、自治会民生部からの働きかけはほとんど無い現状にある。

#### ●Bグループからの発表

～メンバー：野口副会長、近藤委員、栗原委員、網野委員

##### ※交流の場のタイプ

“イベント型の交流の場”

##### ※交流の場づくりの課題に対応した方策アイデアの追加と主体別の取組み

###### 交流の場/新規イベントの開催+既存イベントを活用した交流の場

課題①：＜新規＞場所の選定、どこでやるか

課題②：＜共通＞誰が主体となって誰を巻き込むか

課題③：＜共通＞PR、情報提供の仕方は

課題④：＜共通＞予算はどうするのか

- 交流の場となるイベントの種類では、コンテスト関連と健康づくり関連（スポーツ含め）が考えられる。

- 例えば、ヒマワリコンテストについては、個々にヒマワリ植栽を行っていてもなかなか広がっていかない現状にある。身近な植栽可能な空き地や緑地、校庭などがたくさんあるので、もっと拡げていきたい。
- 健康づくり関連については、ウオークラリーやグラウンドゴルフをはじめ世代間交流を図る各種のイベント、既存イベントの中への健康づくりの場の組み込みが考えられる。
- 本日の協議では、まず各自治会単位で交流イベントを行うこと、そして地区連合会単位での交流イベントに拡げていくこと、ひいては南区全体へと拡大していくという流れが重要であることが確認された。しかし、他の自治会がどんなことをやっており、どのような効果を上げているか、についての情報が少ないのが現状であり、各自治会では、世代間交流や横のつながりのためにどんなことをやったら良いのか、が大きな課題になっている。
- そのため、各自治会がやっている交流イベント一覧を作る方策を追加する。実際には、南区自治会連合会が主催してアンケートを実施し、地区連合会単位、自治会単位で実施している各種の交流イベントを一覧にして情報化することをぜひ具体化したい。他自治会でやっていることを知ることで、それを見学したり、内容等を聴きに行くことができる。

#### (交流の場づくりを進める主体別の取組み)

##### ①区民・活動団体の取組み

- 自治会単位での取組みの重要性が大きく、社協ともつながっている自治会がいろいろな組織に働きかけ、下におろしていくことができる。

##### ②民間団体・関係機関等の取組み

- 空き地利用など民間企業への協力要請をする。例えば、全農独身寮の空き地利用やロッテ工場の緑化事業としてのヒマワリ植栽などである。
- 各自治会の賛助会員となっており、イベント時の協賛をいただいている。例えば、労力の協賛要請もありうる。

##### ③さいたま市・南区の取組み

- 例えば、ヒマワリコンテストでは、種苗の提供をしていただくとともに、南区全体でのコンテストイベントとして主催していただく。また、グラウンドゴルフ大会など南区全体でのイベントを主催する。

### ●Cグループからの発表

～メンバー：坂井副会長、土橋委員、有浦委員、細渕委員、本橋委員

#### ※交流の場のタイプ

“定期・常設型の交流の場”

#### ※交流の場づくりの課題に対応した方策アイデアの追加と主体別の取組み

##### 交流の場／定期・常設型の交流の場

###### 課題①：施設管理者が納得できる借用方法（場所の確保）

常設の場所となる「南区区民サロン」的な場をどのように確保すべきか、大きく3つが考えられる。

- 民間でのコミュニティカフェなどを行っている人達の間をお借りする。この場合、民間に支払う費用負担も含めて区民交流企画への行政支援を確保する。
- 公共施設を活用し、行政として交流の場を提供する。例えば、月ごとの定例的な日時を設定し、区民サロン開設のために使える集会室等を提供する。
- CSR（企業の社会貢献）活動を進める企業にアプローチし、スペース提供などの協力を得る。生協やロッテなどの企業に場の市民開放を働きかける。

###### 課題②：常設・既設の組織・団体との関係づくり

###### 課題③：団体間の交流のはかり方

組織や団体をどのように集めて、どのように交流をはかり、つなげていくか、という

コーディネート力に関することであり、課題としては一つに扱う。

→ 既に「南区市民活動ネットワーク」があるが、何か新しい関係構築への企画や取組みはされていない。これを活かして「南区区民サロン」に結び付け、各団体個々の活性化にもつながっていくような目的を持った活動にしていきたい。

→ そのためにまず、コミュニティ課の支援のもとに、ネットワーク登録団体にこだわらず幅広く様々な団体・グループに交流会を呼びかけていきたい。

→ 学校 SSN の活用はむずかしいが、各 SSN 同士の情報交換と情報共有の場づくりが必要である。

#### (主体について)

→ 常設型の交流の場として、「南区区民サロン」的な場をイメージしてきたが、誰が主体となって企画し立ち上げていくかについては、市民との協働を推進する「さいたま市市民活動センター」が果たす 6 つの機能に注目し、当センターの交流促進の支援機能などを活用して、援助を得ていくことが必要である。また、「南区市民活動ネットワーク」も南区の交流促進活動の担い手になっていただくなど、実のあるものにしていきたい。

支援者：本日の協議は、各グループとも苦戦され、「主体別の取組み」よりも第 4 回に続いて「課題解決の方策」についての話し合いに時間を要したようです。

本年度は、「多様な世代・組織がつながる交流の場づくりのために」を協議テーマにし、グループ協議①では、タイプ別の具体的な交流の場の絞り込みとそれぞれの問題点や課題の協議、グループ協議②では、課題対応の方策アイデアの協議、本日のグループ協議③では、方策の追加と主体別の取組みの協議、と一連の流れでグループワークを続けてきました。今後のまとめでは、まずはグループごとの協議結果を整理し、各グループ協議に共通するものも整理していきたいと考えています。

交流の場を確保し、広げていくために、各グループに共通する協議事項をあげてみると、一つは、既存のイベントや防災訓練、様々なカフェやサロンとかの区民の集まりなど既にある場を活用していくこと、二つに、人材育成を含め団体間をつなげていくコーディネート力を強化していくこと、三つに、人を集めるために、ターゲット層を明確にし、どのような情報発信が効果的かを検討する、ということになるようです。

#### (5) 平成 30 年度協議結果取りまとめ、今後のスケジュール等について

支援者：協議結果の取りまとめについて説明します。“協議のまとめ”を作成しますが、まず素案・たたき台を作成し、事務局と調整して原案とします。委員の皆様には原案原稿の校正作業をお願いします。その後、報告書を整備して次回第 6 回で区長への報告となります。

議長：本日の議事全般に関して何か質問等ございますか。ご意見が特にないようですので、以上で本日の議事を終了いたします。

委員の皆様、熱心にお取り組みいただき、ありがとうございました。

—— 議事終了 ——

### 3 諸連絡（事務局より）

#### ・次回日程について

\* 第 6 回の日程について、平成 31 年 2 月 28 日（木）16：00～、会場は南区役所 1 階 多目的室を予定することで了承された。なお、会議後に懇親会を予定し、後日改めて案内通知させていただきます。

#### ・協議のまとめについて

\* 平成 30 年度の協議結果を冊子にまとめる。2 月 12 日頃をめぐりに委員の皆様へ原稿を郵送して校正をお願いします、修正箇所やご意見をいただく。回答方法等については原稿送りの中で明示するが、2 月 28 日が第 6 回開催であり 1 週間ほどでの作業をお願いします。

・**顕彰事業**

＊本年で3回目となる「南区まちづくり功労者顕彰式」が2月2日（土）13:30から、コミュニティセンター 多目的ホールで開催される。記念講演では川口市の芝園団地自治会 事務局長 岡崎広樹氏に「10年後の地域の姿 多文化共生で変える未来」と題して講演いただく。

・**南区市民活動ネットワーク研修会**

＊3月5日（火）14:00～16:00、前長岡市長の森民夫氏をお招きし、市民協働の実践についての講演会を予定している。なお、第6回区民会議の案内にチラシを同封する。

・**その他**

＊フライングディスク アルティメット競技体験講習会が2月23日（土）10:00～15:30、浦和南高校グラウンドで開催される。参加・観覧方法は、市報南区版2月号に掲載する。

4 閉会

以 上

I. 具体的交流の場	II. 課題に対応した方策アイデアの追加	III. 主体別の取組み
<p>SSNが主導する防災訓練</p>	<p>①既存の防災訓練にSSN等をどう絡ませるか</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">何をするか何をしてもらうか 協議（各団体が参加・交流）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">まずは行政が先頭する （音頭を取る）</div> </div> <p>②団体を集めるコーディネーターが必要</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">トップダウンで参加する事を 決める</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">コーディネーターは自治会 長・校長プラス精通者</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">実施する事として（前提）各 団体が協力する 協力できる物</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 20px;">社協を主体として実施要請 （中学生参加を）</div> <p>学校を通して</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 100px;">役割分担 中学生に、小学生に</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">防災アドバイザーの活用 自治会・学校長</div> <p style="text-align: right;">→ 企画立案 → 実際の訓練</p> <p>※防災アドバイザー：地域の防災力向上と減災のために区を単位とするグループとして活動し、地元の自治会や自主防災組織及び避難所運営委員会などに対し助言や運営の協力を行っていく人達のこと。</p>
<p>文化センターや公民館を活用した健康づくりの場</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">開催物 自治会との連携がいきま</div>	<p>①テーマによって対象施設（場所）を選択</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">困ったら地域包括支援センターへ</div> <p>②誰が集客するか（PR・集客方法）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">現在実施しているイベントを PR・広報</div>	

I. 具体的交流の場	II. 課題に対応した方策アイデアの追加	III. 主体別の取組み												
<p>新規イベントの開催+既存イベントを活用した交流の場</p>	<p>①&lt;新規&gt;場所の選定、どこでやるか</p> <p>②&lt;共通&gt;誰が主体となって誰を巻き込むか</p> <p>③&lt;共通&gt;PR、情報提供の仕方は</p> <p>④&lt;共通&gt;予算はどうするのか</p> <table border="1" data-bbox="795 663 1679 1060"> <thead> <tr> <th>種</th> <th>イベント</th> <th>場所</th> <th>誰が</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンテスト</td> <td>ひまわりコンテスト</td> <td>空地 校庭 会社（工場グラウンド）</td> <td>自治会 社協</td> </tr> <tr> <td>健康づくり スポーツ 食</td> <td>ウォークラリー グラウンドゴルフ 卓球大会 カルタ大会 芋煮会 豚汁大会 もちつき会</td> <td>桜公園 公民館 体育館 校庭 公園 空地 フラワーロード</td> <td>自治会</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="795 1289 1679 1717"> <p>南区全体の前に、各自治会、連合会単位で交流イベントを拡げる</p> <p>小単位から大単位へ</p> <p>各自治会が実施している交流イベントの一覧をつくる</p> <p>情報不足である。各自治会単位でやっていることを他自治会が知らなすぎる</p> </div>	種	イベント	場所	誰が	コンテスト	ひまわりコンテスト	空地 校庭 会社（工場グラウンド）	自治会 社協	健康づくり スポーツ 食	ウォークラリー グラウンドゴルフ 卓球大会 カルタ大会 芋煮会 豚汁大会 もちつき会	桜公園 公民館 体育館 校庭 公園 空地 フラワーロード	自治会	<div data-bbox="1834 281 2712 779"> <p><b>自治会</b></p> <p>交流イベント推進には、自治会単位の重要性大きい</p> <p>自治会が働きかけていく ↑ 構成するいろんな組織へも流しやすい、呼びかけやすい (社協、子ども会、SSNとか)</p> <p>世代間交流を推進するための自治会の重要性</p> </div> <div data-bbox="1834 898 2712 1236"> <p><b>民間企業</b></p> <p>民間企業への協力要請 例えば、空き地利用</p> <p>交流イベントへの協賛(金) (自治会の賛助会員となっている)</p> </div> <div data-bbox="1834 1356 2712 1717"> <p><b>南区</b></p> <p>ひまわりコンテストで区は、例えば、ひまわりの種を</p> <p>南区全体ひまわりコンテストの主催</p> </div>
種	イベント	場所	誰が											
コンテスト	ひまわりコンテスト	空地 校庭 会社（工場グラウンド）	自治会 社協											
健康づくり スポーツ 食	ウォークラリー グラウンドゴルフ 卓球大会 カルタ大会 芋煮会 豚汁大会 もちつき会	桜公園 公民館 体育館 校庭 公園 空地 フラワーロード	自治会											



